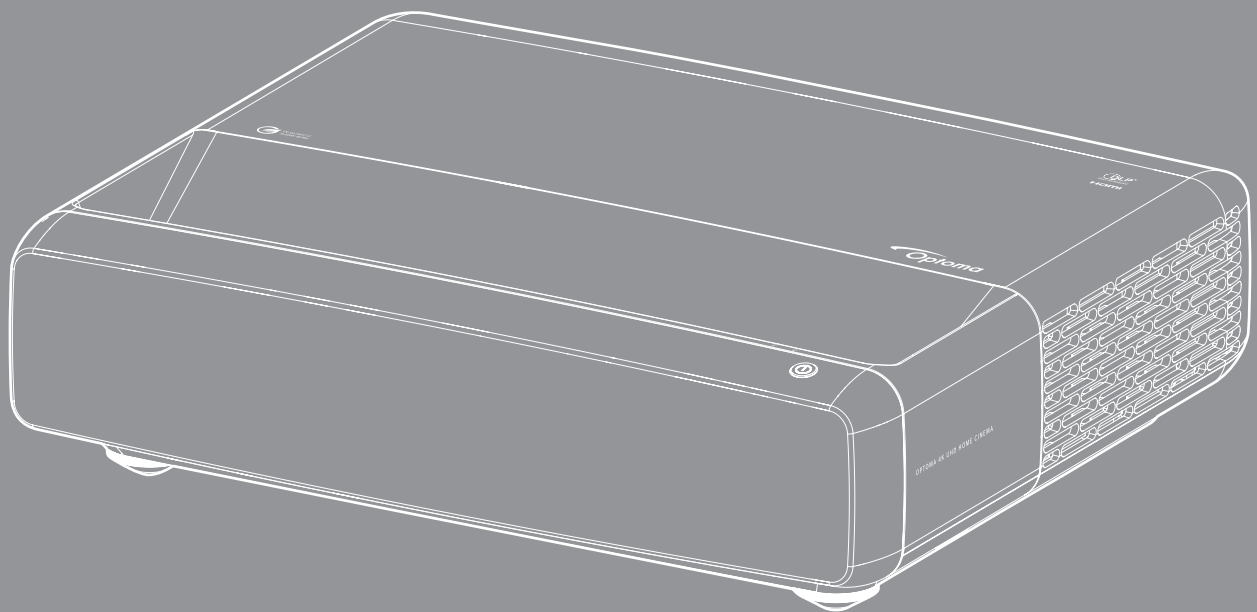




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

4K ULTRA HD™

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

DLP
TEXAS INSTRUMENTS

4K
UHD

HDR
Compatible

目次

著作権	4
フリーソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアの宣言通知	4
フリーソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアの通知	4
ライセンス	5
安全	9
安全に関するご注意	9
レンズの清掃	10
3D 安全情報	10
著作権	11
免責条項	11
商標認識	12
FCC	12
EU 諸国への適合宣言	13
WEEE	13
はじめに	14
パッケージの内容	14
付属品	14
オプションのアクセサリ	15
製品の各部名称	15
接続	16
キーパッドおよび LED インジケーター	16
リモコン	17
設定と設置	18
プロジェクターを設置する	18
ソースをプロジェクターに接続する	20
投影画像の調整	22
リモコンの準備	23
プロジェクターを使用する	25
プロジェクターの電源を入れる/切る	25
入力ソースを選択する	26
メニューナビゲーションと機能	27
OSD メニューツリー	28
画像ピクチャモードメニュー	33
画像ダイナミックレンジメニュー	33
画像輝度メニュー	33
画像コントラストメニュー	34
画像シャープネスメニュー	34
画像ガンマメニュー	34

画像ダイナミックブラックメニュー	34
画像色設定メニュー	34
画像壁色補正メニュー	35
画像 3D メニュー	35
画像リセットメニュー	35
ディスプレイフォーカスメニュー	36
ディスプレイジオメトリ補正メニュー	36
ディスプレイデジタルズームメニュー	36
ディスプレイゲーミングモードメニュー	37
ディスプレイアドバンスドゲーミングメニュー	37
ディスプレイアスペクト比メニュー	37
ディスプレイ光源モードメニュー	38
ディスプレイリセットメニュー	38
テストパターン設定メニュー	39
投影方向設定メニュー	39
言語設定メニュー	39
メニュー設定メニュー	39
高地モード設定メニュー	39
電源設定メニュー	39
セキュリティ設定メニュー	40
目の保護センサー設定メニュー	40
起動ロゴ設定メニュー	40
背景色設定メニュー	40
設定デバイスリセットメニュー	40
自動入力ソースメニュー	41
最後の入力ソース記憶メニュー	41
自動入力切り替えメニュー	41
入力 HDMI CEC 設定メニュー	41
入力リセットメニュー	41
オーディオボリュームメニュー	42
オーディオミュートメニュー	42
オーディオミュートメニュー	42
オーディオ出力メニュー	42
オーディオリセットメニュー	42
情報メニュー	42

追加情報 43

対応解像度	43
画像サイズと投影距離	49
プロジェクターの寸法と天井取り付け	50
IR リモコンコード	51
故障かなと思ったら	52
警告インジケーター	53
仕様	55
Optoma 社グローバルオフィス	56

著作権

Copyright (C) 2023 by Optoma Corporation

ALL RIGHTS RESERVED.

著作権宣言は製品のどの部分にも適用されますが、宣言とフリーライセンスおよびオープンソースライセンスの要件が明示的に矛盾する場合は、FOSS ライセンスが優先されます。

フリーソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアの宣言通知

この製品に含まれるソフトウェアには、もともと Apache License 2.0 や SIL Open Font License (OFL) などのフリーソフトウェアライセンスおよびオープンソースソフトウェアライセンスに基づいてライセンスされている著作権のあるソフトウェアが含まれています。関連する通知と免責事項を以下に示します。

フリーソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアの通知

Roboto Light

- ライセンスの完全な名称: Apache License 2.0
- SPDX 短縮識別子: Apache-2.0
- 変更されたステータス: なし
- 著作権表示: Copyright 2011 Google Inc. Apache ライセンス、バージョン 2.0 (以下、「ライセンス」) に基づいてライセンス供与されています。ライセンスに準拠しない限り、このファイルを使用することはできません。ライセンスのコピーは、次の URL で入手できます:
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
適用される法律で義務付けられている場合、または書面で合意されている場合を除き、ライセンスに基づいて配布されるソフトウェアは、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証または条件もなく、「現状のまま」で配布されます。ライセンスに基づく許可と制限を管理する特定の言語については、ライセンスを参照してください。

Noto Serif KR

- ライセンスの完全な名称: SIL Open Font License 1.1
- SPDX 短縮識別子: OFL-1.1
- 変更されたステータス: なし
- 著作権表示: Copyright 2017 Adobe Systems Incorporated (<http://www.adobe.com/>)
このフォントソフトウェアは、SIL オープンフォントライセンス、バージョン 1.1 に基づいてライセンスされています。
このライセンスは以下にコピーされており、<https://scripts.sil.org/OFL> の FAQ から入手できます。

ライセンス

Apache ライセンス、バージョン 2.0、2004 年 1 月

<http://www.apache.org/licenses/>

使用、複製、配布に関する条件

1. 定義。

「**ライセンス**」とは、本書の第 1 節から第 9 節で定義される使用、複製、および配布の条件を意味するものとします。

「**ライセンサー**」とは、著作権所有者、またはライセンスを付与する著作権所有者によって承認された団体を意味するものとします。

「**法人**」とは、行為主体と、その主体を支配するか、支配されるか、またはその主体と共通の支配下にある他のすべての主体の連合を意味するものとします。この定義の目的上、「**管理**」とは、(i) 契約またはその他によるかどうかにかかわらず、直接的または間接的に、かかる団体の指示または管理を引き起こす力、(ii) 発行済み株式の 50 % 以上の所有権、または (iii) かかる団体の受益所有権を意味します。

「**あなた**」(または「**あなたの**」) は、本ライセンスによって付与された許可を行使する個人または法人を意味するものとします。

「**ソース**」形式とは、ソフトウェアソースコード、ドキュメントソース、および構成ファイルを含むがこれらに限定されない、変更を行うための推奨形式を意味するものとします。

「**オブジェクト**」形式とは、コンパイルされたオブジェクトコード、生成されたドキュメント、および他のメディアタイプへの変換を含むがこれらに限定されない、ソース形式の機械的変換または翻訳の結果として生じる任意のフォームを意味するものとします。

「**著作物**」とは、著作物に含まれる、または著作物に添付される著作権表示によって示されるように、ソースまたはオブジェクトの形式を問わず、ライセンスに基づいて提供される著作物を意味するものとします (例は以下の付録に記載されています)。

「**二次的著作物**」とは、ソースまたはオブジェクトの形式を問わず、著作物に基づく (または派生する) 著作物を意味するものとします。また、編集上の改訂、注釈、精緻化、またはその他の修正は、全体として、著者のオリジナルの著作物を表すものとします。このライセンスの目的上、二次的著作物には、著作物およびその二次的著作物から分離可能な著作物または単に著作物とその二次的著作物のインターフェイスにリンクする (または名前をバインドする) 著作物は含まれないものとします。

「**寄稿物**」とは、著者の著作物を意味し、著作権所有者、または著作権所有者に代わって提出する権限を与えられた個人または法人によって、著作物に含めるためにライセンサーに意図的に提出された、著作物の元のバージョン、およびその著作物またはその二次的著作物に対する修正または追加が含まれるものとします。この定義の目的上、「**提出された**」とは、ライセンサーまたはその代表者に送信された電子的、口頭、または書面による通信のあらゆる形式を意味します。電子メーリングリスト、ソースコード管理システム、問題追跡システムでの通信が含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらのシステムは、著作物の議論と改善を目的として、ライセンサーによって、またはライセンサーに代わって管理されます。ただし、著作権所有者が書面で「**非寄稿物**」として目立つようにマークまたはその他の方法で指定した通信は除きます。

「**寄稿者**」とは、ライセンサーと、その代理としてライセンサーが寄稿物を受け取り、その後著作物に組み込まれた個人または法人を意味するものとします。

2. 著作権ライセンスの付与。このライセンスの条件に従い、各寄稿者は、著作物およびかかる二次的著作物を複製、二次的著作物を作成、公に表示、公に実行、サブライセンス、および配布するための、永続的、世界的、非独占的、無料、使用料無、取消不能の著作権ライセンスを、ソースまたはオブジェクト形式であなたに付与します。

3. 特許ライセンスの付与。このライセンスの条件に従い、各寄稿者は、著作物を作成、作成、使用、販売の申し出、販売、輸入、およびその他の方法で譲渡するための永久的、世界的、非独占的、無料、使用料無料、取消不能 (本節に記載されている場合を除く) の特許ライセンスを、ここにあなたに付与します。かかるライセンスは、その寄稿者によってライセンス可能な特許申請のみに適用され、寄稿物単独または寄稿物とその寄稿物が提出された著作物との組み合わせによって必然的に侵害されます。あなたが著作物または著作物に組み込まれた寄稿物が直接的または寄与的な特許侵害を構成すると主張して、何らかの団体に対して特許訴訟を提起した場合 (訴訟における相互請求または反訴を含む)、かかる著作物について本ライセンスに基づいてあなたに付与された特許ライセンスは、かかる訴訟が提起された日をもって終了するものとします。

4.再配布。次の条件を満たしていることを条件に、変更の有無にかかわらず、ソースまたはオブジェクトの形式で、任意の媒体で著作物またはその二次的著作物のコピーを複製および配布することができます。

1. 著作物またはその二次的著作物の他の受領者に、このライセンスのコピーを渡さなければなりません。
2. 変更されたファイルには、ファイルを変更したことを示す目立つ通知を掲載する必要があります。
3. 配布する二次的著作物のソース形式で、二次的著作物のどの部分にも関係しない通知を除き、著作物のソース形式からのすべての著作権、特許、商標、および帰属表示を保持する必要があります。
4. 著作物に配布の一部として「**NOTICE**」テキストファイルが含まれている場合、配布する二次的著作物には、二次的著作物の一部として配布される **NOTICE** テキストファイル内、二次的著作物と共に提供される場合、ソース形式またはドキュメント内、かかる第三者の通知が通常表示される場合は、二次的著作物によって生成された表示内の少なくとも 1 つに、二次的著作物のいずれの部分にも関係しない通知を除き、かかる **NOTICE** ファイルに含まれる帰属通知の読み取り可能なコピーを含める必要があります。**NOTICE** ファイルの内容は情報提供のみを目的としており、ライセンスを変更するものではありません。著作物の **NOTICE** テキストと一緒に、またはその補遺として、配布する二次的著作物内に独自の帰属表示を追加できます。

あなたはあなたの修正にあなた自身の著作権声明を追加することができます。また、あなたの著作物の使用、複製、および配布が、本ライセンスに記載されている条件に準拠している場合、あなたは、あなたの修正の使用、複製、または配布、またはかかる二次的著作物全体に対して、追加または異なるライセンス条件を提供することができます。

5.寄稿物の提出。あなたが明示的に別段の定めをしない限り、あなたが著作物に含めるために意図的にライセンサーに提出した寄稿物は、追加の条件なしで、本ライセンスの条件に従うものとします。上記にかかわらず、本契約のいかなる条項も、かかる寄稿物に関してライセンサーと締結した別のライセンス契約の条項に取って代わり、または変更するものではありません。

6.商標。本ライセンスは、ライセンサーの商号、商標、サービスマーク、または製品名を使用する許可を与えるものではありません。ただし、著作物の出所を説明し、**NOTICE** ファイルの内容を複製する際に合理的かつ慣習的に使用するために必要な場合を除きます。

7.保証の免責事項。適用される法律で義務付けられている場合、または書面で同意されている場合を除き、ライセンサーは、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証または条件もなしに、「現状のまま」で作品を提供します（および各寄稿者はその寄稿物を提供します）。これには、権原、非侵害、商品性、または特定目的への適合性の保証または条件が含まれますが、これらに限定されません。あなたは、著作物の使用または再配布の適切性を判断する責任を単独で負い、本ライセンスに基づく許可の行使に関連するあらゆるリスクを負うものとします。

8.責任の制限。不法行為（過失を含む）、契約、またはその他のいずれであるかを問わず、適用される法律（故意および重大な過失行為など）によって要求されるか、または書面で同意された場合を除き、いかなる場合も、いかなる法的理論の下でも、寄稿者は、かかる損害の可能性について知らされていたとしても、本ライセンスの結果として、または著作物の使用または使用不能から生じるキャラクターの直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的な損害を含む（のれんの損失、作業の停止、コンピューターの故障または機能不全、またはその他すべての商業上の損害または損失を含むがこれらに限定されない）損害賠償責任をあなたに対して負うないものとします。

9. 保証または追加責任の受け入れ。著作物またはその二次的著作物を再配布する際、あなたは、サポート、保証、補償、またはその他の責任義務および/または本ライセンスに一致する権利の受諾を提示し、料金を請求することを選択できます。ただし、かかる義務を受け入れるにあたり、あなたは、他の寄稿者に代わってではなく、あなた自身のために、あなたの単独の責任においてのみ行動することができます。また、かかる寄稿者が被った責任、または寄稿者に対して主張された請求について、あなたが各寄稿者を補償し、弁護し、無害に保つことに同意する場合に限り、かかる保証または追加責任を受け入れることができます。

契約条件の終了

著作物に Apache ライセンスを適用する方法

Apache ライセンスのコピー (通常は LICENSE と呼ばれるファイル) を著作物に含め、ライセンスを参照する NOTICE ファイルも含めることを検討します。

著作物内の特定のファイルに Apache ライセンスを適用するには、次のボイラープレート宣言を添付し、括弧「[]」で囲まれたフィールドを独自の識別情報に置き換えます。(括弧は入れないでください!) ファイル形式に適したコメント構文でテキストを囲みます。また、第三者のアーカイブ内で簡単に識別できるように、著作権表示と同じ「印刷ページ」にファイルまたはクラス名と目的の説明を含めることをお勧めします。

Copyright [yyyy] [著作権所有者の名前]

Apache ライセンス、バージョン 2.0 (以下、「ライセンス」) に基づいてライセンス供与されています。ライセンスに準拠しない限り、このファイルを使用することはできません。ライセンスのコピーは、次の URL で入手できます:

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

適用される法律で義務付けられている場合、または書面で合意されている場合を除き、ライセンスに基づいて配布されるソフトウェアは、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証または条件もなく、「現状のまま」で配布されます。

ライセンスに基づく許可と制限を管理する特定の言語については、ライセンスを参照してください。

SIL オープンフォントライセンス、バージョン 1.1 - 2007 年 2 月 26 日

前文

オープンフォントライセンス (OFL) の目標は、共同フォントプロジェクトの世界的な開発を促進し、学術および言語コミュニティのフォント作成の取り組みをサポートし、フォントを他のユーザーと協力して共有および改善できる無料でオープンなフレームワークを提供することです。

OFL では、ライセンスを取得したフォントを単独で販売しない限り、自由に使用、研究、変更、再配布することができます。二次的著作物を含むフォントは、二次的著作物で予約名が使用されていない限り、任意のソフトウェアにバンドル、埋め込み、再配布、および/または販売することができます。ただし、フォントおよび派生物は、他の種類のライセンスの下ではリリースできません。フォントがこのライセンスの下にあるという要件は、フォントまたはその派生物を使用して作成された文書には適用されません。

定義

「フォントソフトウェア」とは、著作権所有者が本ライセンスに基づいてリリースし、その旨が明確に示されている一連のファイルを指します。これには、ソースファイル、ビルドスクリプト、およびドキュメントが含まれる場合があります。

「予約済みフォント名」とは、著作権表示の後にそのように指定されている名前を指します。

「オリジナル版」とは、著作権保有者によって配布されたフォントソフトウェアコンポーネントの集合を指します。

「修正版」とは、フォーマットの変更またはフォントソフトウェアの新しい環境への移植によって、オリジナル版のコンポーネントの一部または全体を追加、削除、または置換することによって作成された派生物を指します。

「著者」とは、フォントソフトウェアに貢献したデザイナー、エンジニア、プログラマー、テクニカルライター、またはその他の人物を指します。

許可および条件

フォントソフトウェアのコピーを取得するすべての者に対し、フォントソフトウェアの変更されたコピーおよび変更されていないコピーを使用、調査、コピー、マージ、埋め込み、変更、再配布、および販売することを、次の条件に従って無償で許可します：

1. オリジナル版または修正版のフォントソフトウェアまたはその個々のコンポーネントのいずれも、単独で販売することはできません。
2. フォントソフトウェアのオリジナル版または修正版は、各コピーに上記の著作権表示と本ライセンスが含まれていることを条件に、任意のソフトウェアにバンドル、再配布、および/または販売することができます。これらは、ユーザーがフィールドを簡単に表示できる限り、スタンドアロンのテキストファイル、人間が読み取れるヘッダーとして、またはテキストまたはバイナリファイル内の適切な機械読み取り可能なメタデータフィールドに含めることができます。
3. 対応する著作権所有者から明示的な書面による許可が与えられていない限り、フォントソフトウェアの修正版は、予約済みフォント名を使用することはできません。この制限は、ユーザーに表示される基本フォント名にのみ適用されます。
4. 著作権保有者またはフォントソフトウェアの作成者の名前は、著作権所有者および著者の寄稿物を確認する場合、または明示的な書面による許可がある場合を除き、修正版の宣伝、支持、または広告に使用してはなりません。
5. フォントソフトウェアは、部分的または全体的に変更されているかどうかに関係なく、本ライセンスに基づいて完全に配布する必要があり、他のライセンスに基づいて配布してはなりません。フォントが本ライセンスの下にあるという要件は、フォントソフトウェアを使用して作成された文書には適用されません。

終了

上記の条件のいずれかが満たされない場合、本ライセンスは無効になります。

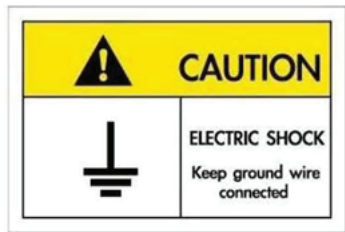
免責条項

フォントソフトウェアは「現状有姿」で提供され、商品性、特定の目的への適合性、および著作権、特許、商標、またはその他の権利を侵害していないことの保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証もありません。いかなる場合においても、著作権所有者は、契約、不法行為、またはその他の行為によるものであるかを問わず、フォントソフトウェアの使用または使用不能、またはフォントソフトウェアのその他の取引に起因する、あらゆる一般的、特別、間接的、偶発的、または派生的な損害を含む、いかなる請求、損害、またはその他の責任についても責任を負わないものとします。

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータースタンドや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用時、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗淨する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗淨しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2023

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件により規制されます。

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

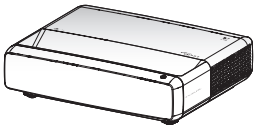
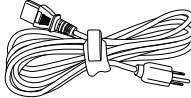
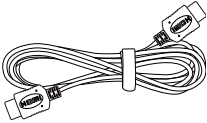
はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

付属品

 プロジェクター	 リモコン	 電源ケーブル	☐ 保証書* ☒ クイックスタートユーザー マニュアル
 Android TV ドングル	 HDMI ケーブル		

注:

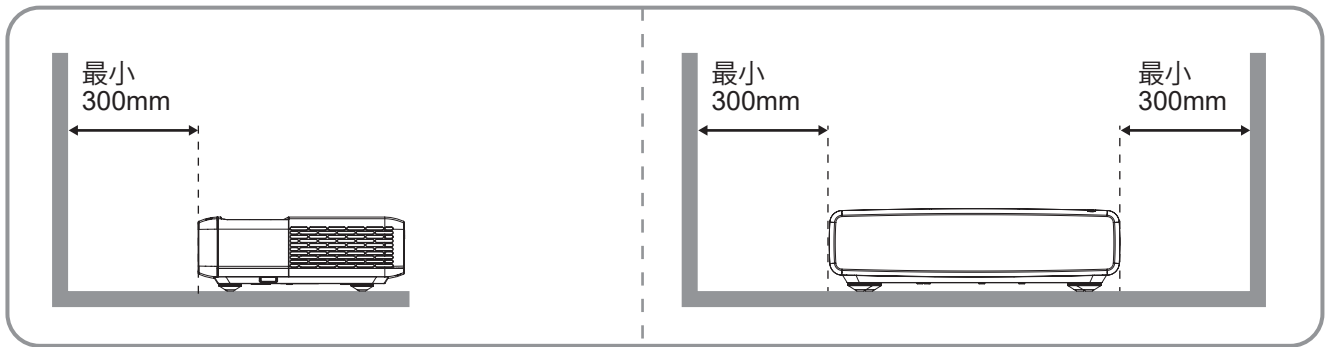
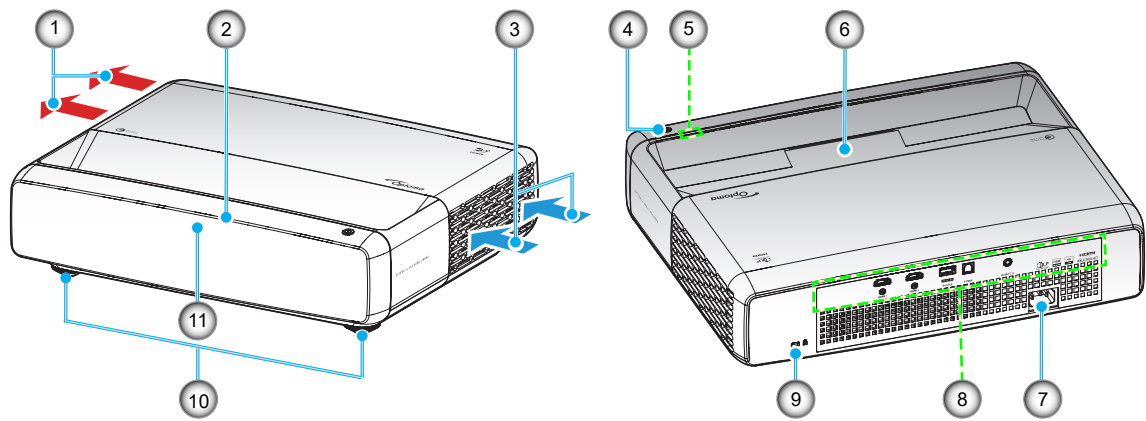
- リモコン、Android TV ドングル、HDMI ケーブルは、地域やモデルによって異なる場合があります。
- * 保証情報については、<https://www.optoma.com/support/download> にアクセスしてください。

はじめに

オプションのアクセサリ

注: オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。

製品の各部名称

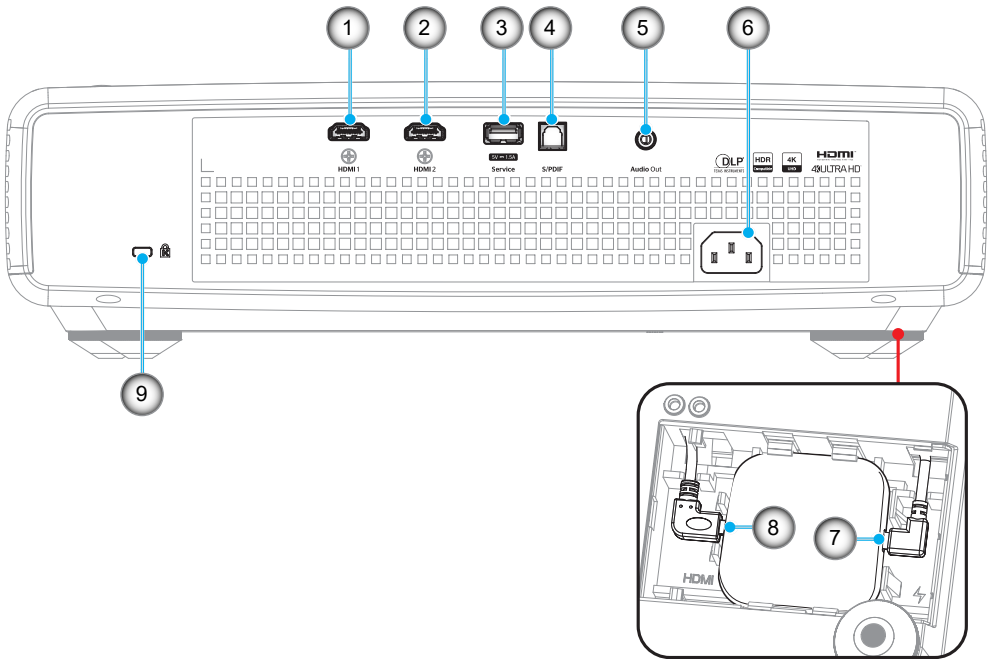


- 注:**
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
 - プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30cm (12 インチ) 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (排気口)	7.	電源ソケット
2.	上部 IR レシーバー	8.	入/出力
3.	換気 (吸気口)	9.	Kensington™ ロックポート
4.	電源ボタン	10.	チルト調整フット
5.	LED インジケーター	11.	フロント IR レシーバー
6.	レンズ		

はじめに

接続

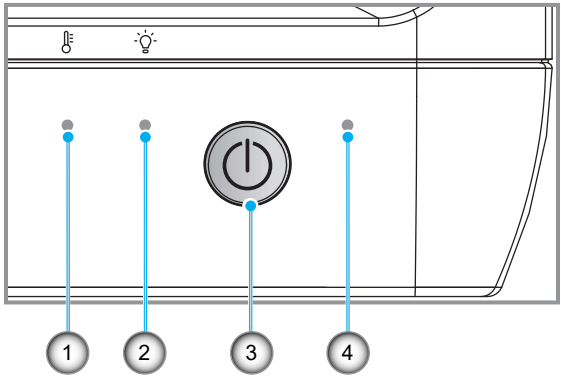


番号	項目
1.	HDMI 1 端子 (4K 60Hz)
2.	HDMI 2 端子 (4K 60Hz)
3.	USB 電源出力 (5V/1.5A) 端子 (*)
4.	S/PDIF 端子 (PCM 2 チャンネル)
5.	オーディオ出力端子

番号	項目
6.	電源ソケット
7.	USB 電源出力 (5V/1.5A) (Android TV ドングル用マイクロ USB 端子)
8.	HDMI 3 端子 (ATV ドングル用マイクロ HDMI 端子)
9.	Kensington™ ロック ポート

注: (*) 携帯電話の充電用には推奨されません。

キーパッドおよび LED インジケーター

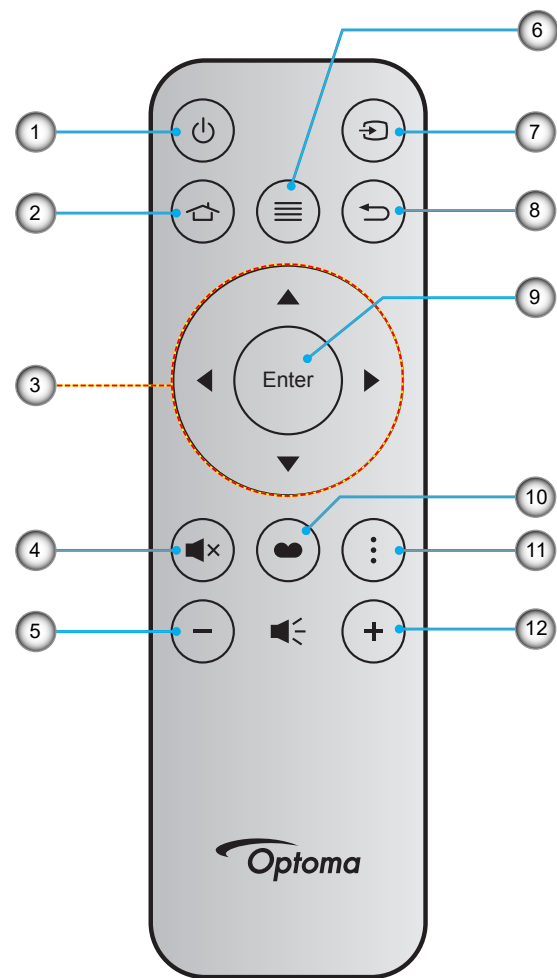


番号	項目
1.	温度 LED
2.	光源 LED

番号	項目
3.	電源ボタン
4.	電源 LED

はじめに

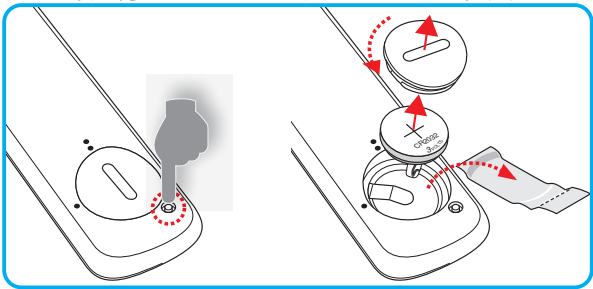
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	HDMI3	8.	戻る
3.	4 方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ピクチャモード
5.	音量 -	11.	フォーカスパターン
6.	メニュー	12.	音量 +

注:

- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。
- 初めてリモコンを使用するときは、ロックボタンを押して電池室カバーを開け、下図のように透明絶縁テープをはがしてください。電池の取り付けについては、23 ページを参照してください。

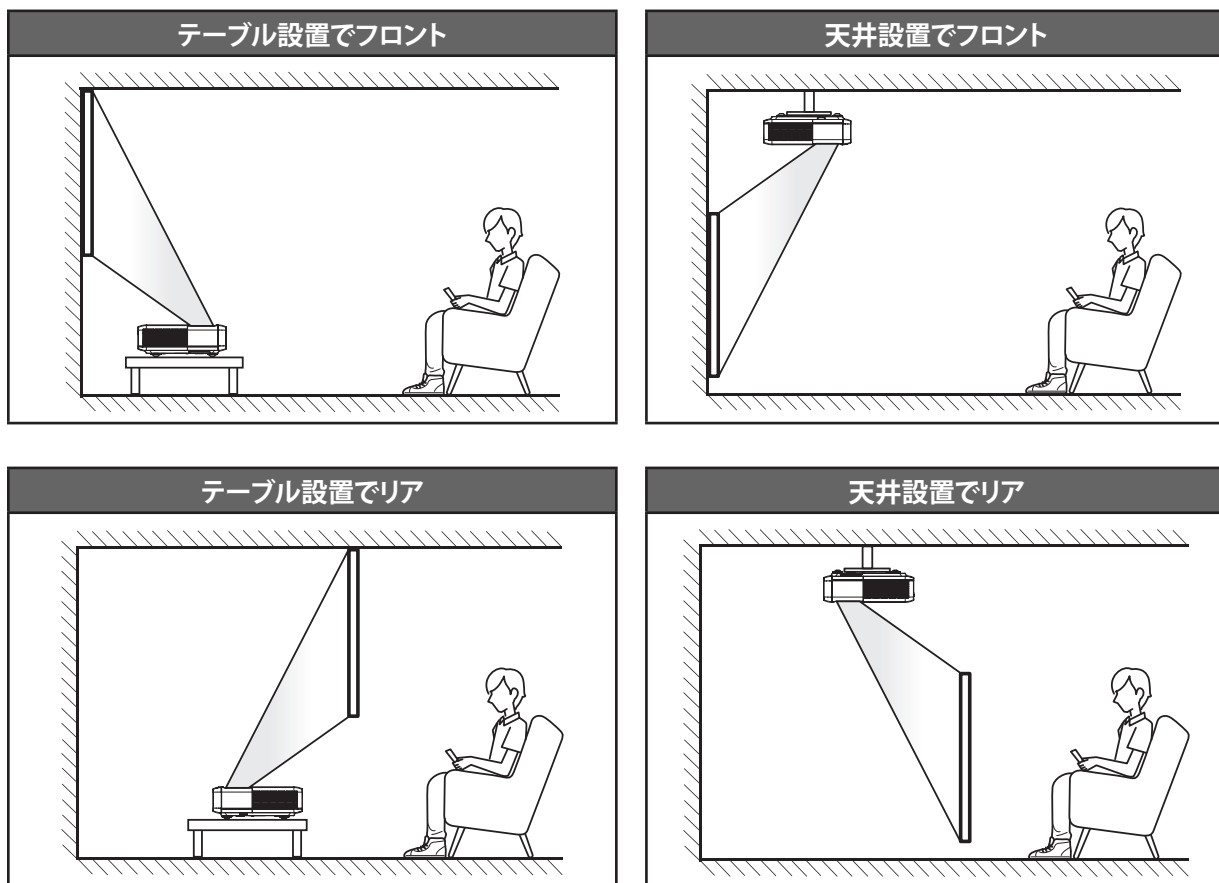


設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、49ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、49ページの距離表を参照してください。

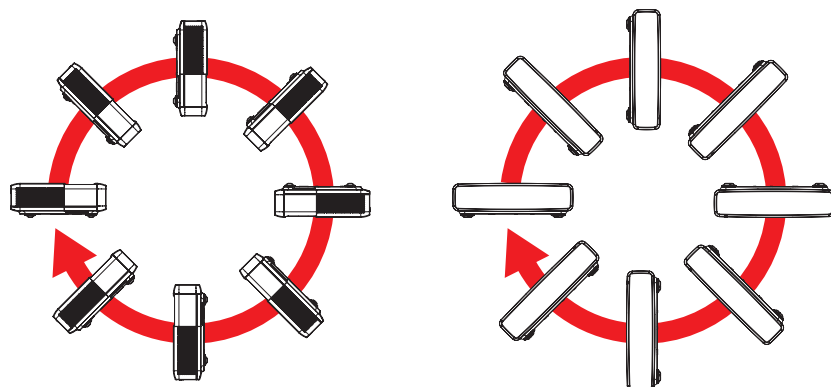
注:

- プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投影される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。
- 光学的製造の制限により、垂直オフセットは異なる場合があります。プロジェクターを切り替えるとき、追加調整が発生する可能性があります。

設定と設置

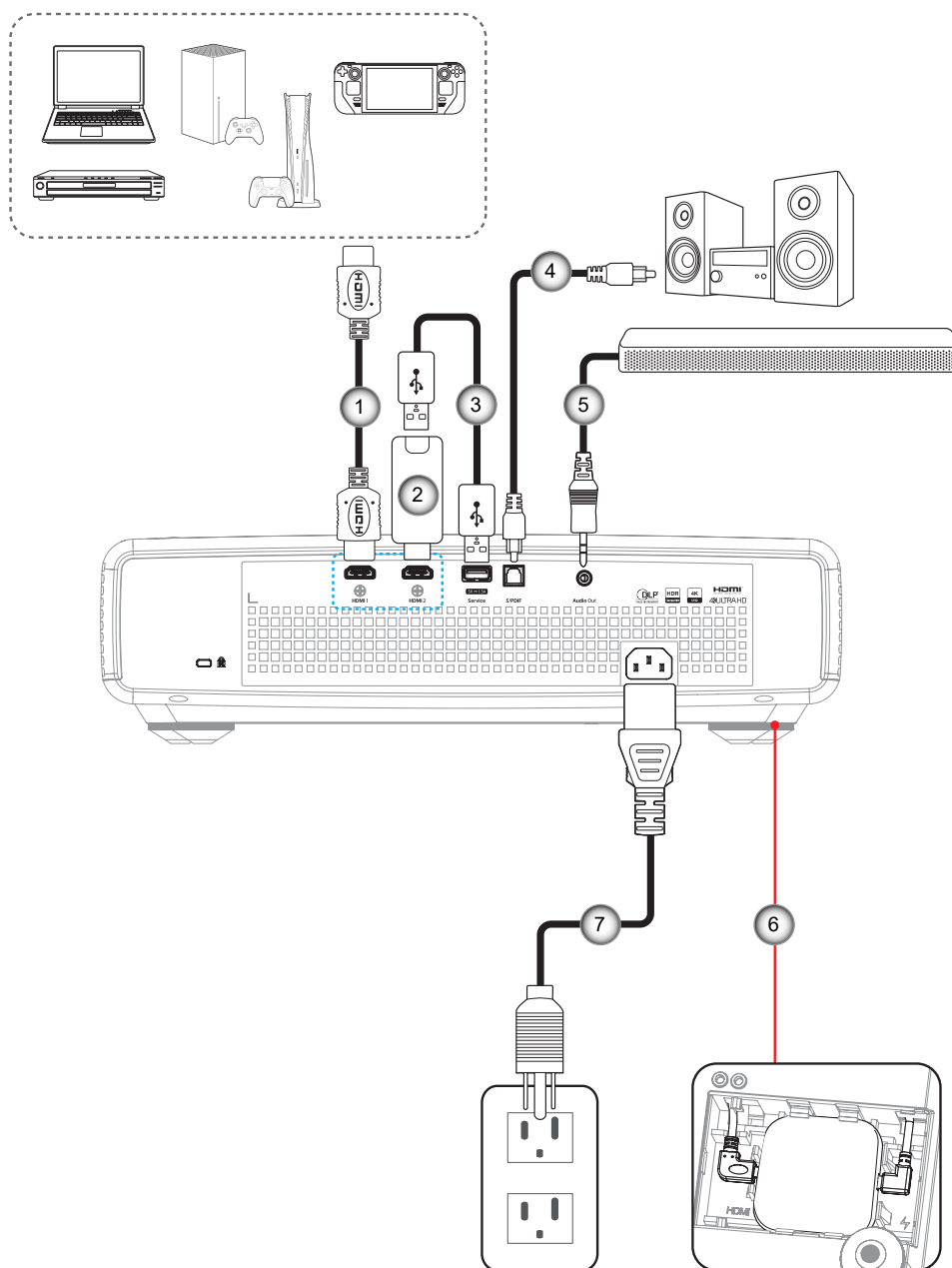
プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360 度投影およびポートレートモード



設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	HDMI ケーブル
2.	HDMI ドングル
3.	USB 電源ケーブル
4.	S/PDIF 出力ケーブル

番号	項目
5.	オーディオ出力ケーブル
6.	Android TV ドングル (21 ページ を参照)
7.	電源コード

注:

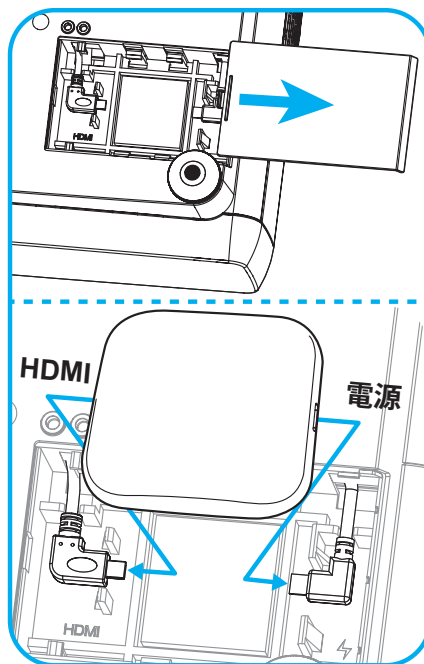
- 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、プレミアム HDMI ケーブルを使用してください。20 ～ 25 フィートを越えるケーブル長の場合は、アクティブファイバー HDMI ケーブルを使用することを強くお勧めします。

設定と設置

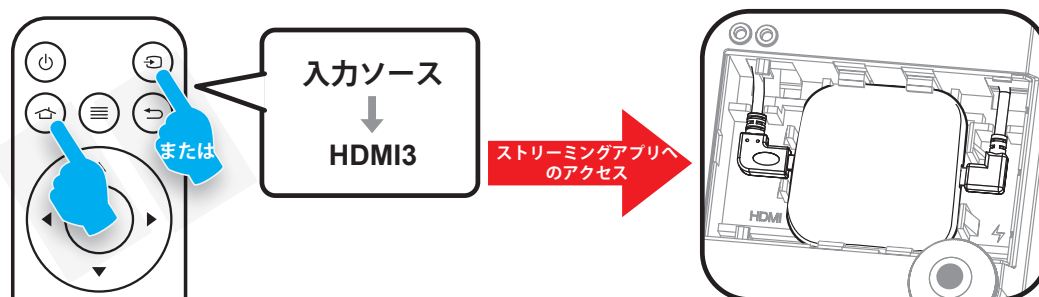
Android TV ドングルの取り付けと使用

Android TV ドングルを取り付けて使用を開始するには、次の手順を実行します：

1. プロジェクターの電源を切ります。(25 ページ を参照)
2. プロジェクターの下部にある Android TV ドングルコンパートメントドアを取り外します。
3. Android TV ドングルをコンパートメントに合わせて取り付けます。
4. HDMI ケーブルと電源ケーブルを Android TV ドングルの側面にあるそれぞれの端子に接続します。



5. プロジェクターの電源を入れます。(25 ページ を参照)
6. ストリーミングアプリにアクセスするには、リモコンの「」ボタンまたは「」ボタン > HDMI3 のいずれかを押します。



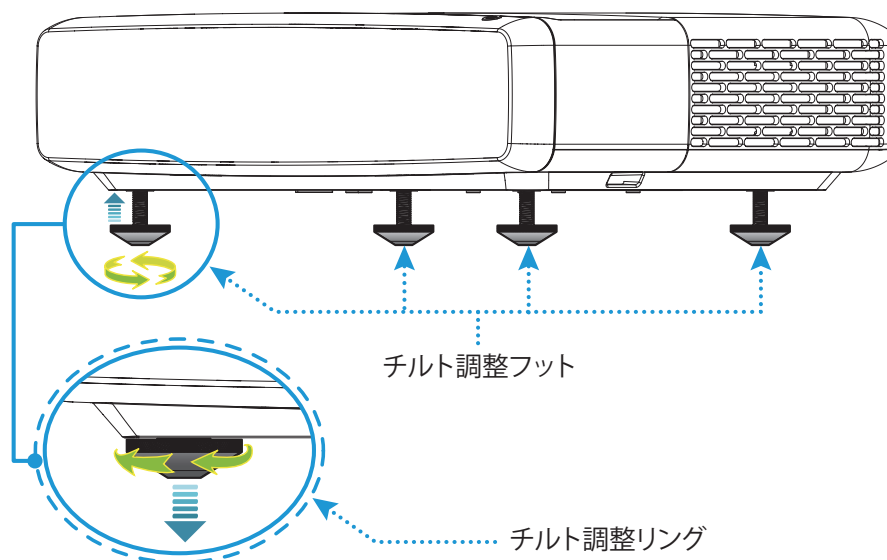
設定と設置

投影画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

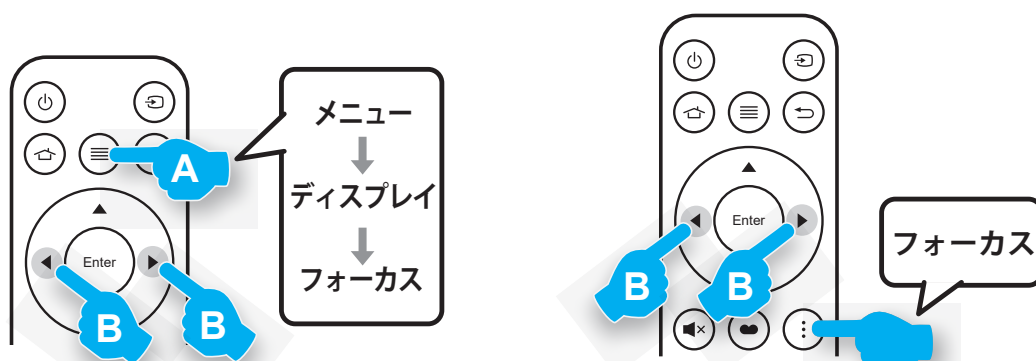
1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



フォーカス

フォーカスを調整するには、以下を行います：

1. 「」「ディスプレイ-> フォーカス」メニューを開くか、リモコンの「」ボタンを押します。
2. 画像が鮮明で判読できるようになるまで、リモコンの「」または「」ボタンを押します。

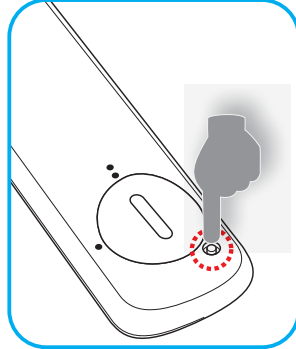


設定と設置

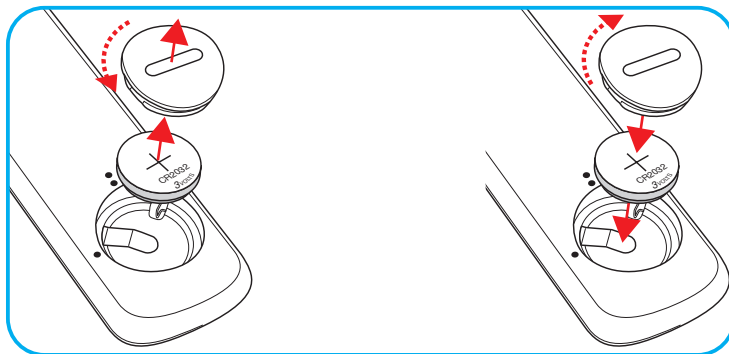
リモコンの準備

電池の取り付け/交換

1. 電池室の横にあるロックボタンを押します。



2. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
3. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。
古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
4. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

警告: 電池を摂取しないでください、化学火傷の危険があります。



- この製品には、コイン/ボタン電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の火傷を負い、死亡する可能性があります。

警告: 新品および使用済みの電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。



- バッテリーコンパートメントがしっかり閉まらない場合は、使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体のどこかに入ったと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

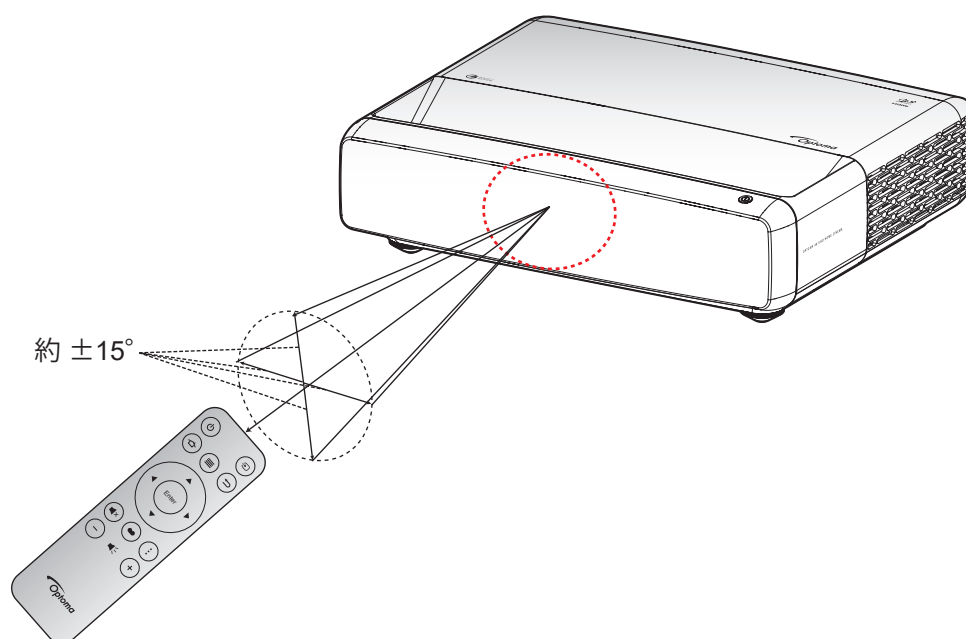
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して ± 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 4 メートル (約 13 フィート) 以内にとどめてください。

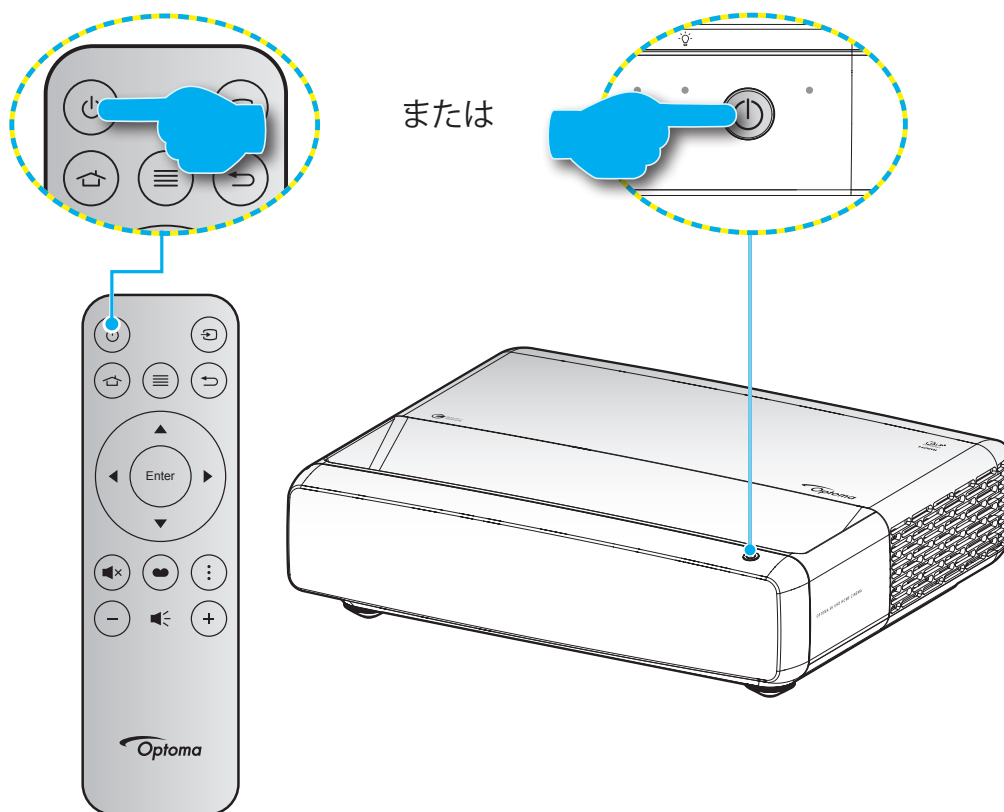
注: IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、6 メートル (約 19 フィート) を超えないようにしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- 誤動作を防ぐため、リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離してください。リモコンがインバータータイプの蛍光灯にさらされると、断続的に無効になる場合があります。
- プロジェクターに近づきすぎると、リモコンが効かなくなる場合がありますのでご注意ください。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



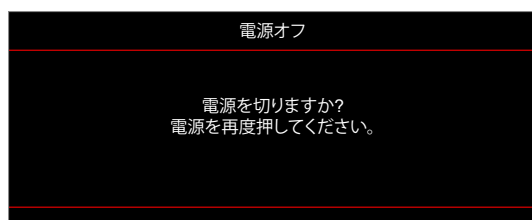
パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 1 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が白色に点滅します。

注: 初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投影方向、その他の設定を選択するように求められます。

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



プロジェクターを使用する

3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 1 秒間動作し続けます。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れたい場合は、「⏻」ボタンを押してください。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏮] ボタンを押し、入力を選択します。

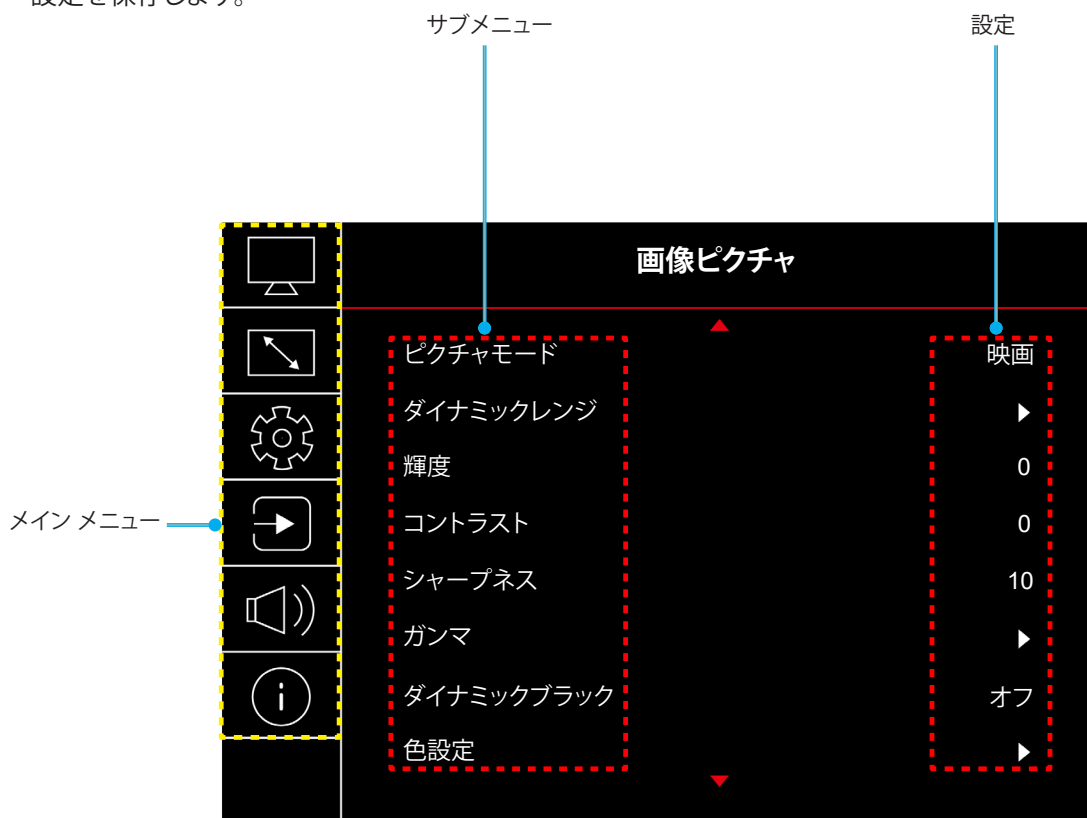


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSDメニューを開くには、リモコンの  を押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの [↔] を押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、[↔] を押して詳細設定を表示します。◀▶キーによって設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. ⬅️ を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度  を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルと地域によって異なります。Optoma は、通知なしに製品の性能を向上させるために、項目を追加または削除する権利を留保します。

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	ピクチャモード				鮮明
					HDR
					HLG
					HDR SIM.
					映画
					ゲーム
					リファレンス
					高輝度
					3D
					リセット
	ダイナミックレンジ	HDR/HLG			自動
					オフ
		HDR 輝度			0 ~ 10
	輝度				-50 ~ 50
	コントラスト				-50 ~ 50
	シャープネス				1 ~ 15
	ガンマ				フィルム
					ビデオ
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
					3D
	ダイナミックブラック				オフ
					オン
	色設定	色			-50 ~ 50
		色合い			-50 ~ 50
		色温度			暖色
					標準
					冷色
					寒色
		CMS /色調整	色		白色 /赤色/緑色/青色/シアン/マゼンタ/黄色
			色相		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			値 (輝度)		-50 ~ 50
			リセット		いいえ
					はい
		色空間			HDMI 入力: 自動/RGB (0-255)/RGB (16-235)/ YUV

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	壁色				オフ
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
	3D	3D モード			オフ
					オン
		3D 同期タイプ			DLP リンク
					3D 同期
		3D 映像フォーマット			自動
					(SBS) サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
		3D 同期反転			オフ
					オン
		リセット			いいえ
					はい
	リセット				
ディスプレイ	フォーカス				リモコンの「◀」または「▶」ボタンを押して、フォーカスを調整します。
	ジオメトリ補正	垂直キーストン			-10 ~ 10
		水平キーストン			-10 ~ 10
		4 コーナー調整			
		ワーピング			
		リセット			
	デジタルズーム	ズーム			-5 ~ 25
	ゲーミングモード				オフ
					オン
	アドバンスドゲーミング	スムーズモーション			オフ
					オン
		ディスプレイ FPS			オフ
					白色/赤色/緑色
		ターゲットマスター			オフ
					白色/赤色/緑色

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	アスペクト比				4:3
					16:9
					垂直ストレッチ
					全画面表示
					21:9
					32:9
					ネイティブ
					自動
	光源モード				高輝度
					エコ
	リセット				
設定	テストパターン				緑色のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白色グリッド
					白色
					オフ
	投影方向				フロント
					背面
					天吊り - トップ
					背面 - 上部
	言語				English
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					繁體中文
					簡体中文
					日本語
					한국어
	メニュー設定	メニュー位置			Русский
					左上
					右上
					中央
					左下
					右下
		メニュータイマー			オフ
					5 秒
					10 秒
					20 秒
					30 秒
		情報を表示しない			オフ
					オン
	高地モード				オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	電源設定	ダイレクトパワーオン			オフ
					オン
		信号電源オン			オフ
					オン
		自動電源オフ (分)			0、2 ~ 180 (1 分の増分)
		スリープタイマー (分)			0 ~ 990 (30 分の増分)
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワード変更			
	目の保護センサー				オフ
					オン
	起動ロゴ	ロゴ			デフォルト
					ニュートラル
	背景色				なし
					青色
					赤色
					緑色
					グレー
					ロゴ
	デバイスリセット	OSD をリセット			いいえ
					はい
		すべての設定をリセット			いいえ
					はい
入力	自動ソース				オフ
					オン
	最後のソースを記憶する				オフ
					オン
	自動入力切り替え				オフ
					オン
	HDMI CEC 設定	HDMI リンク			オフ
					オン
		モニター連動			いいえ
					はい
		電源オンリンク			双方向設定
					プロジェクター -> デバイス
					デバイス -> プロジェクター
		電源オフリンク			オフ
					オン
	リセット				いいえ
					はい

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
オーディオ	音量				0 ~ 10
	ミュート				オフ
					オン
	オーディオモード				自動
					標準
					シアター
					ゲーム
	オーディオ出力				内蔵スピーカー
					SPDIF
	リセット				
情報	規制				
	シリアル番号				
	ソース情報				ソース, 解像度, リフレッシュレート
	色情報				色ビット深度
					色域
					色空間
	光源使用時間				
	光源モード				高輝度
					エコ
	FW バージョン				DDP
					MCU
					MST

プロジェクターを使用する

イメージメニュー

画像ピクチャモードメニュー

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **鮮明:** このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **HDR /HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **HDR SIM.:** ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。
注: このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **映画:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **リセット:** ピクチャモード設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

画像ダイナミックレンジメニュー

HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動:** HDR/HLG 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。

HDR 輝度

HDR の輝度レベルを調整します。

画像輝度メニュー

画像の輝度を調整します。

プロジェクターを使用する

画像コントラストメニュー

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

画像シャープネスメニュー

画像のシャープネスを調整します。

画像ガンマメニュー

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4:** 特定の PC/写真ソース用。
- **3D:** 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

注: 3D モードでは、ガンマには「3D」オプションのみを使用できます。

画像ダイナミックブラックメニュー

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

画像色設定メニュー

色

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

色温度

暖色、標準、冷色、または寒色から色温度を選択します。

CMS/色調整

次のオプションを選択します：

- **色:** 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色相:** 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度:** ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **値 (輝度):** 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット:** Colour Adjustment を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

色空間

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します：自動、RGB (0-255)、RGB (16-235) および YUV。

プロジェクターを使用する

画像壁色補正メニュー

スクリーンのない壁に投影するとき、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注: 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

画像 3D メニュー

注:

- このプロジェクターは、DLP リンク 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。
- ビデオをお楽しみになる前に、3D メガネが DLP-Link 3D 用であることをご確認ください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz のみに設定してください。これより低いまたは高いフレームレートはサポートされていません。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D 同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLP リンク:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **Side By Side:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **いいえ:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

画像リセットメニュー

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

ディスプレイフォーカスメニュー

画像のフォーカスを調整します。詳細については、「フォーカス」(22 ページ) を参照してください。

ディスプレイジオメトリ補正メニュー

垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストン

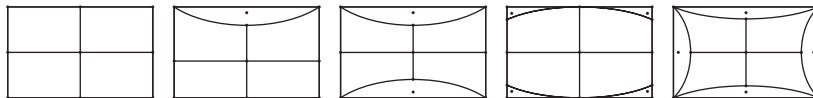
画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

ワーピング

投影面 (スクリーン) の境界に合わせたり、凹凸による画像の歪みを解消したりするには、ワーピングを使用します。



リセット

幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

ディスプレイデジタルズームメニュー

ズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注:

- ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。
- デジタルズームは 3D モードではサポートされていません。

プロジェクターを使用する

ディスプレイゲーミングモードメニュー

この機能を有効にして、ゲーム中の応答時間 (入力遅延) を低減します。

ディスプレイアドバンスドゲーミングメニュー

スムーズモーション

この機能を有効にすると、モーションアーティファクト、モーションブラー、画面上の動きのカクつきを抑えてコンテンツを再生できます。

注: アドバンスドゲーミングは、48Hz から 144Hz @1080p までの可変リフレッシュ レート (VRR) をサポートします。

ディスプレイ FPS

スムーズモーションが有効になっている間、画面に FPS 番号を白色、赤色、または緑色で表示します。色は現在のフレーム レートを反映します。

ターゲットマスター

ススムーズモーションが有効になっている間、シューティングゲームの画面にターゲットマスターを白色、赤色、または緑色で表示できます。

ディスプレイアスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9:** この形式は、HDTV やワイドスクリーン TV 用に拡張された DVD などの 16:9/ 21:9/32:9 入力ソース用です。
- **垂直ストレッチ:** このモードでは、2.35:1/2.4:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **全画面表示:** この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、2.35:1/2.4:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注:

- **垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:**
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます
- **全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います:**
 - a) 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - b) 「全画面表示」フォーマットを選択します。
 - c) プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

プロジェクターを使用する

4K UHD DMD のマッピングルール:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880x2160 にスケーリングします。				
16x9	3840x2160 にスケーリングします。				
21x9	3840x1644 にスケーリングします。				
32x9	3840x1080 にスケーリングします。				
垂直ストレッチ	中央の 3840x1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します。				
全画面表示	5068x2852 (132% 拡大) まで拡大し、その後、中央 3840x2160 画像を表示します。				
自動	ソースが 4:3 の場合、2880x2160 に自動的にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

ディスプレイ光源モードメニュー

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。

ディスプレイリセットメニュー

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

テストパターン設定メニュー

テストパターンを 緑色のグリッド、マゼンタのグリッド、白色グリッド、白色 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

投影方向設定メニュー

フロント、背面、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

言語設定メニュー

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、繁体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語から選択します。

メニュー設定メニュー

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

情報を表示しない

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モード設定メニュー

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

電源設定メニュー

ダイレクトパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号電源オン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注:

- [信号電源オン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は HDMI ソースに適用されます。

自動電源オフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

プロジェクターを使用する

注: スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。

セキュリティ設定メニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- ・ **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- ・ **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

注: デフォルトのパスワードは「1234」です。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

目の保護センサー設定メニュー

目の保護センサーを有効にすると、物体がプロジェクターの光線に非常に近いとき、ライトが一時的にオフになります。

起動ロゴ設定メニュー

この機能を使って希望の起動画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- ・ **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- ・ **ニュートラル:** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色設定メニュー

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注: 背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。

設定デバイスリセットメニュー

OSD をリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

入力メニュー

自動入力ソースメニュー

利用可能な入力ソースをプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

最後の入力ソース記憶メニュー

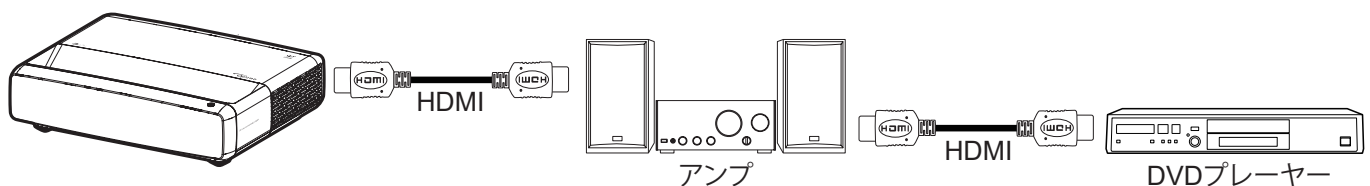
このオプションを選択すると、常に最後の入力ソースでプロジェクターが起動されます。

自動入力切り替えメニュー

HDMI 入力信号が検出されると、プロジェクターは自動的に入力ソースを切り替えます。

入力 HDMI CEC 設定メニュー

注: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMI リンク

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

モニター連動

設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

電源オンリンク

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター -> デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス -> プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフリンク

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

入力リセットメニュー

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオボリュームメニュー

音量レベルを調整します。

オーディオミュートメニュー

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

注: [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えません。

オーディオミュートメニュー

標準、シアター、ゲーム から適切なオーディオモードを選択するか、プロジェクターがオーディオモードを自動的に検出するようにします。

オーディオ出力メニュー

内蔵スピーカーまたは SPDIF から適切なオーディオ出力を選択します。

オーディオリセットメニュー

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

情報メニュー

情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します:

- 規制
- シリアル番号
- ソース情報
- 色情報
- 光源使用時間
- 光源モード
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

スムーズモーションを有効にしたタイミングテーブル

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]
(1) HDMI - PC 信号		
VGA	640 x 480	67
VGA	640 x 480	60
VGA	640 x 480	72
VGA	640 x 480	75
VGA	720 x 400	70
SVGA	800 x 600	56
SVGA	800 x 600	60
SVGA	800 x 600	72
SVGA	800 x 600	75
XGA	1024 x 768	60
XGA	1024 x 768	70
XGA	1024 x 768	75
XGA	1024 x 768	120
SXGA	1280 x 1024	75
SXGA	1280 x 1024	60
UXGA	1600 x 1200	60
4K	3840 x 2160	60
(2) HDMI - 拡張ワイドタイミング		
WXGA	1280 x 720	60
WXGA	1280 x 720	120
WXGA	1280 x 800	60
WXGA	1280 x 800	120
(3) HDMI - ビデオ信号		
640 x 480p	640 x 480	60
480i	720 x 480	60
576i	720 x 576	50
480p	720 x 480	60
576p	720 x 576 (4:3)	50
480p	720 x 480	60
576p	720 x 576 (16:9)	50
720p	1280 x 720	60
720p	1280 x 720	50
1080i	1920 x 1080	60
1080i	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	24
1080p	1920 x 1080	60
1080p	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	120
1080p	1920 x 1080	144
1080p	3840 x 1080	60

追加情報

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]
2160p	3840 x 2160	60
2160p	3840 x 2160	50
2160p	3840 x 2160	25
2160p	3840 x 2160	24
2160p	3840 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	24
2160p	4096 x 2160	25
2160p	4096 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	50
2160p	4096 x 2160	60

スムーズモーションを無効にしたタイミングテーブル

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]
(1) HDMI - PC 信号		
VGA	640 x 480	67
VGA	640 x 480	60
VGA	640 x 480	72
VGA	640 x 480	75
VGA	720 x 400	70
SVGA	800 x 600	56
SVGA	800 x 600	60
SVGA	800 x 600	72
SVGA	800 x 600	75
XGA	1024 x 768	60
XGA	1024 x 768	70
XGA	1024 x 768	75
XGA	1024 x 768	120
SXGA	1280 x 1024	75
SXGA	1280 x 1024	60
UXGA	1600 x 1200	60
4K	3840 x 2160	60
(2) HDMI - 拡張ワイドタイミング		
WXGA	1280 x 720	60
WXGA	1280 x 720	120
WXGA	1280 x 800	60
WXGA	1280 x 800	120
(3) HDMI - ビデオ信号		
640x480p	640 x 480	60
576p	720 x 576 (16:9)	50
480p	720 x 480	60
720p	1280 x 720	60
720p	1280 x 720	50
1080i	1920 x 1080	60

追加情報

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]
1080i	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	24
1080p	1920 x 1080	60
1080p	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	120
1080p	1920 x 1080	144
1080p	1920 x 1080	240
1080p	3840 x 1080	60
2160p	3840 x 2160	60
2160p	3840 x 2160	50
2160p	3840 x 2160	24
2160p	3840 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	24
2160p	4096 x 2160	25
2160p	4096 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	50
2160p	4096 x 2160	60
576p	720 x 576	50
720p	1280 x 720	60
720p	1280 x 720	50
1080i	1920 x 1080	60
1080i	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	24
1080p	1920 x 1080	60
1080p	1920 x 1080	50
1080p	1920 x 1080	120
1080p -144 (CVT-RB)	1920 x 1080	144
1080p	1920 x 1080	240
1080p	3840 x 1080	60
2160p	3840 x 2160	60
2160p	3840 x 2160	50
2160p	3840 x 2160	25
2160p	3840 x 2160	24
2160p	3840 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	24
2160p	4096 x 2160	25
2160p	4096 x 2160	30
2160p	4096 x 2160	50
2160p	4096 x 2160	60

追加情報

True 3D ビデオ互換性

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]
(4) HDMI – 1.4a 3D タイミング		
720p50 (フレームパッキング)	1280 x 720	50
720p60 (フレームパッキング)	1280 x 720	60
1080p (フレームパッキング)	1920 x 1080	24
720p50 (トップアンドボトム)	1280 x 720	50
720p60 (トップアンドボトム)	1280 x 720	60
1080p (トップアンドボトム)	1920 x 1080	24
1080p (トップアンドボトム)	1920 x 1080	50
1080p (トップアンドボトム)	1920 x 1080	60
720p (サイドバイサイド (ハーフ))	1280 x 720	60
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080	50(25)
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080	60(30)
1080p (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080	50
1080p (サイドバイサイド (ハーフ))	1920 x 1080	60

追加情報

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

VRR が有効なデジタル信号 (4K):

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70 (V) Hz x 31.5 (H) Hz	1280 x 720 @ 60Hz 16:9	3840 x 2160 @ 60Hz	640 x 480p @ 60Hz 4:3	1920 x 1080 @ 144Hz
640 x 480 @ 60 (V) Hz x 31.5 (H) Hz	1280 x 800 @ 60Hz 16:10		720(1440) x 576i @ 50Hz 4:3	3840 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67 (V) Hz x 34.9 (H) Hz	1280 x 1024 @ 60Hz 5:4		720(1440) x 480i @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 72 (V) Hz x 37.9 (H) Hz	1600 x 1200 @ 60Hz 4:3		720(1440) x 480i @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 75 (V) Hz x 37.5 (H) Hz	1920 x 1200 @ 60Hz 16:10		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56 (V) Hz x 35.1 (H) Hz	1024 x 768 @ 120Hz 4:3		720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60 (V) Hz x 37.9 (H) Hz	1280 x 720 @ 120Hz 16:9		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
800 x 600 @ 72 (V) Hz x 48.1 (H) Hz	1280 x 800 @ 120Hz 16:9		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 75 (V) Hz x 46.9 (H) Hz			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60 (V) Hz x 48.4 (H) Hz			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70 (V) Hz x 56.5 (H) Hz			1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75 (V) Hz x 60 (H) Hz			1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75 (V) Hz x 80 (H) Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 24Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 25Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 30Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160p @ 24Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 25Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 30Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 50Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 60Hz 256:135	
			1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	

追加情報

ゲーム用デジタル信号 (4K):

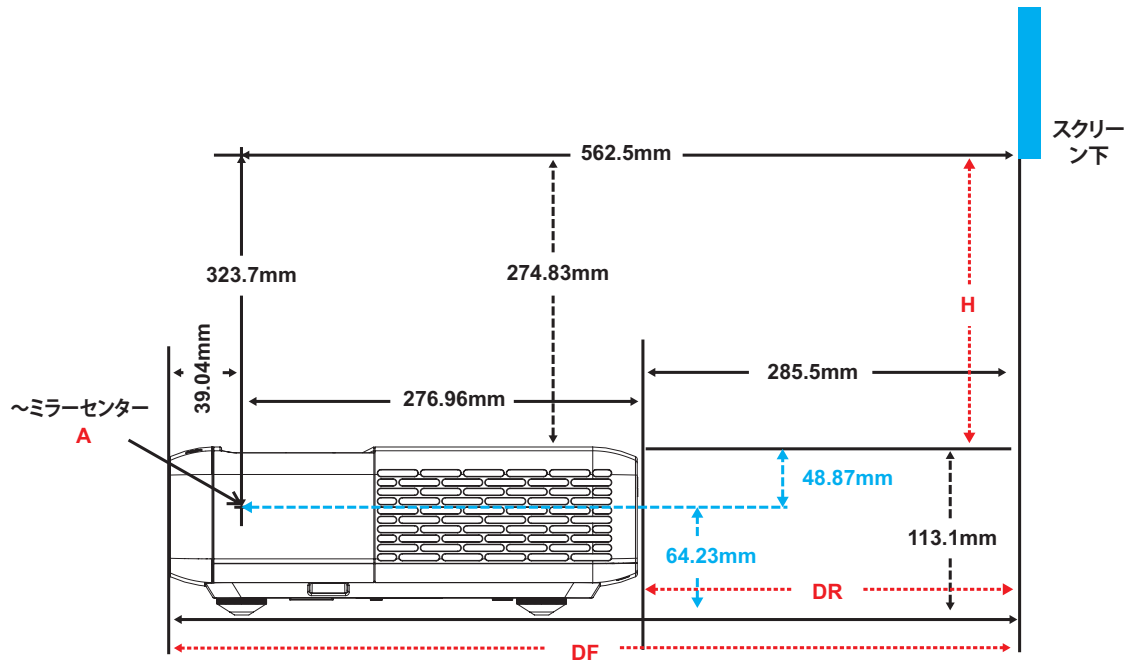
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70 (V) Hz x 31.5 (H) Hz	1280 x 720 @ 60Hz 16:9	3840 x 2160 @ 60Hz	640 x 480p @ 60Hz 4:3	1920 x 1080 @ 144Hz
640 x 480 @ 60 (V) Hz x 31.5 (H) Hz	1280 x 800 @ 60Hz 16:10		720 x 576p @ 50Hz 16:9	3840 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67 (V) Hz x 34.9 (H) Hz	1280 x 1024 @ 60Hz 5:4		720 x 480p @ 60Hz 16:9	1920 x 1080 @ 240Hz
640 x 480 @ 72 (V) Hz x 37.9 (H) Hz	1600 x 1200 @ 60Hz 4:3		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75 (V) Hz x 37.5 (H) Hz	1920 x 1200 @ 60Hz 16:10		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 56 (V) Hz x 35.1 (H) Hz	1024 x 768 @ 120Hz 4:3		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 60 (V) Hz x 37.9 (H) Hz	1280 x 720 @ 120Hz 16:9		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 72 (V) Hz x 48.1 (H) Hz	1280 x 800 @ 120Hz 16:9		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
800 x 600 @ 75 (V) Hz x 46.9 (H) Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60 (V) Hz x 48.4 (H) Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70 (V) Hz x 56.5 (H) Hz			3840 x 2160p @ 24Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75 (V) Hz x 60 (H) Hz			3840 x 2160p @ 30Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75 (V) Hz x 80 (H) Hz			3840 x 2160p @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160p @ 24Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 25Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 30Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 50Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 60Hz 256:135	
			1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	

追加情報

画像サイズと投影距離

画像サイズ (インチ)	DF 公差: 0 ~ -7%		DR		Hオフセット: 121% ~ 131%	
	m	インチ	m	インチ	m	インチ
75 インチ	0.479	18.867	0.163	6.427	0.147 ~ 0.241	5.798 ~ 9.475
85 インチ	0.538	21.177	0.222	8.736	0.173 ~ 0.279	6.827 ~ 10.994
90 インチ	0.567	22.332	0.251	9.891	0.186 ~ 0.299	7.342 ~ 11.754
100 インチ	0.626	24.642	0.310	12.201	0.213 ~ 0.337	8.371 ~ 13.274
110 インチ	0.685	26.951	0.369	14.510	0.239 ~ 0.425	9.401 ~ 16.718
120 インチ	0.743	29.261	0.427	16.820	0.265 ~ 0.463	10.431 ~ 18.238

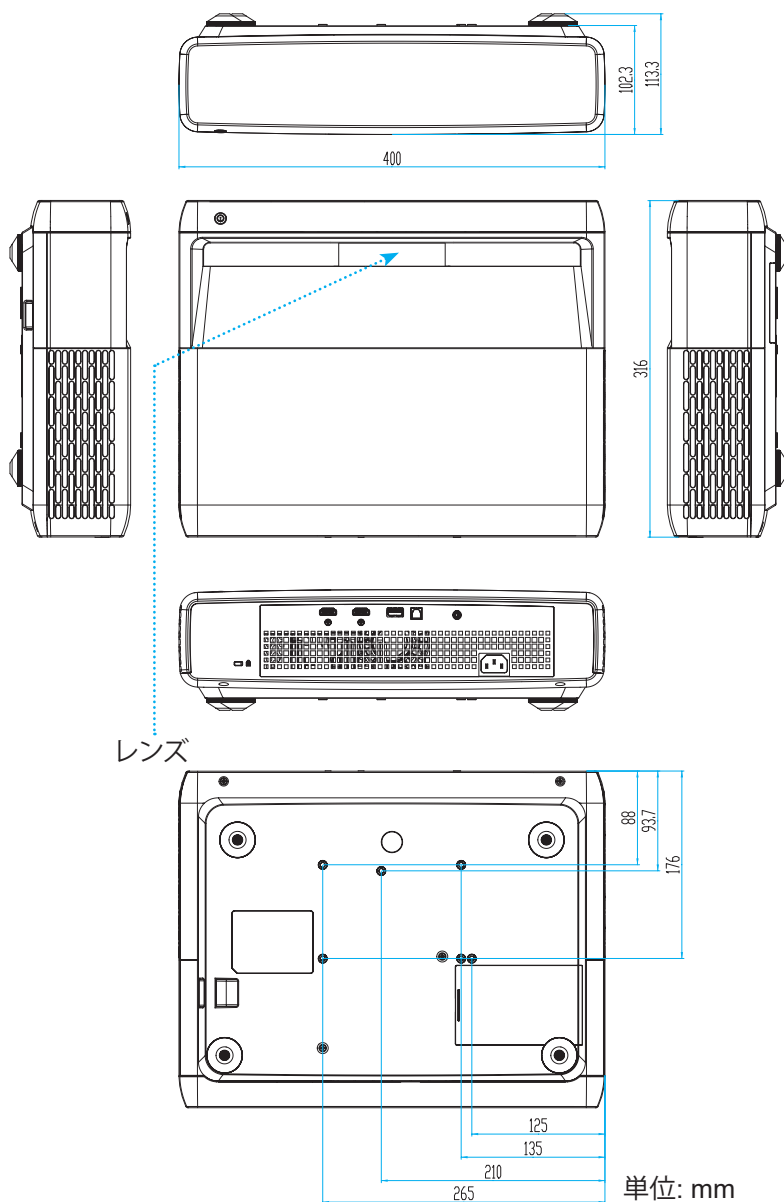
注: すべてのプロジェクターには公差範囲があります。最も正確な値を得るには、デバイスを直接測定してください。



追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
 2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
- ・ ネジの種類: 6 ポイント取り付けの場合は M4
 - ・ 最小ネジ長: 10mm



注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- ・ 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- ・ プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- ・ プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモコンコード



キー	キー 番号	MTX.	フォー マット	デー タ0	デー タ1	デー タ2	デー タ3	説明
電源オン/ オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E "Powering on / off the projector" on page <?>を参照してください。
ソース	↺	K3	11	F1	32	CD	18	E7 ↺ を押して、入力信号を選択します。
HDMI3	🏠	K13	03	F1	32	CD	92	6D 🏠 を押して、HDMI3 ソースを開きます。
メニュー	≡	K8	17	F1	32	CD	0E	F1 ≡ を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ≡ を押します。
戻る	↶	K4	10	F1	32	CD	86	79 ↶ を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB ▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0 選択した項目を確定します。
ミュート	🔊x	K15	01	F1	32	CD	52	AD 🔊x を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ピクチャ モード	🎮	K10	15	F1	32	CD	91	6E 🎮 を押して、ピクチャモードメニューを開きます。ピクチャモードメニューを終了するには、🎮 をもう一度押します。
フォーカ スパター ン	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA ⋮ を押して、フォーカスパターンを開きます。
音量 -	-	K11	12	F2	32	CD	0C	F3 - を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6 + を押して、音量を大きくします。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

- ❓ スクリーンに画像が写らない
 - すべてのケーブルと電源が、「設定と設置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
 - 「双方向設定」機能がオンに設定されていないか確認してください。
- ❓ 画像のピントが合っていない
 - 「フォーカス」(22 ページ) を参照してください。
 - 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(49 ページを参照してください)。
- ❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる
 - アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
 - LBX フォーマットの DVD タイトルを再生している場合、プロジェクターの OSD で垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
 - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
 - お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。
- ❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる
 - プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
 - プロジェクターパネルの [メニュー] を押し、「ディスプレイ->アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。
- ❓ 画像が横に傾く:
 - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- ❓ 画像が反転する
 - OSDから [設定->投影方向] を選択し、投影方向を調整します。
- ❓ ぼやけた二重画像
 - 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ピクチャモード] が 3D でないことを確認してください。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから $\pm 15^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。
プロジェクターから 4 m (約 13 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

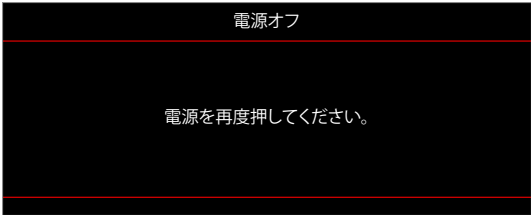
プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケーターが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

追加情報

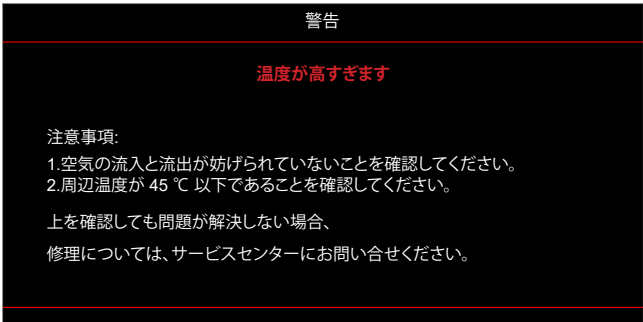
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤色)	(白色)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)		
電源オンおよびランプ		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン) 。冷却ファンがオフにな ると、赤色の点灯に戻り ます。		
クイック再開 (100 ミリ秒)		点滅 (0.25 秒オフ/0.25 秒オ ン)		
エラー (ランプ障害)	点滅			点灯
エラー (ファン障害)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ:



- 温度警告:



追加情報

仕様

光学	説明
技術	Texas Instrument DMD, 0.47 インチ 4K UHD DMD x1、4 ウェイ XPR アクチュエーター付き
出力解像度	4K UHD 3840 x 2160
最大入力解像度	グラフィック最大 3840 x 2160 @60Hz 最大帯域幅: HDMI 2.0:600MHz
レンズ	- スロー比: 0.254 - F-停止: 2.04 - 焦点距離: 2.63 mm
オフセット	126% ±5%
画像サイズ	75 インチ～ 120 インチ
投影距離	14.5cm ±2cm (75インチ) ～ 39.8cm ± 3cm (120インチ) (28.6cm ±2.5cm (100インチ))
I/O	- HDMI 2.0 x3 (外側 x2、内側 x1 は Android TV ドングル用) - USB x2 (外部 x1、電力供給 5V/1.5A およびサービス用のタイプ A 端子。内部 x1 、Android TV ドングル用の電源 5V/1.5A としてのマイクロ USB 端子) - オーディオ出力 3.5mm - S/PDIF
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15 ～ 140 KHz - 垂直スキャン速度: 24 ～ 120Hz (1080P の場合 240Hz)
スピーカー	10W x2
消費電力	- 最大: (ブライモード) 165W (標準)、190W (最大) @ 110VAC 160W (標準)、184W (最大) @ 220VAC - 最小: (エコモード) 145W (標準)、167W (最大) @ 110VAC 143W (標準)、164W (最大) @ 220VAC
電力要件	100 ～ 240V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	2.2A
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	- フィートなし: 400 x 316 x 102.3 mm (15.7 x 12.4 x 4.0 インチ) - フィートあり: 400 x 316 x 113.3 mm (15.7 x 12.4 x 4.5 インチ)
重さ	5.1 kg (11.24 ポンド)
環境	0 ～ 40℃、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0252
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Germany

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

